

第5章 計画の推進と進行管理

1 効率的な事業連携

茅ヶ崎市では管路施設だけでも約 646km の施設を保有しており、これまでに整備してきた下水道施設は膨大です。そのうち、合流式下水道区域においては、下水道事業の着手が早期に行われたこともあり、老朽化対策や地震対策等の緊急性が高まっています。一方、茅ヶ崎市のほぼ全域にあたる全体計画区域では、汚水管の未整備区域における生活排水処理施設の早期普及や浸水発生区域における浸水対策等、取組むべき施策は多岐にわたります。

そのため、地域別に必要な施策の選定を行い、一体的に対策実施が可能な事業については図 5.1 のような事業連携を図ることで、効率的で効果的な事業推進を行います。

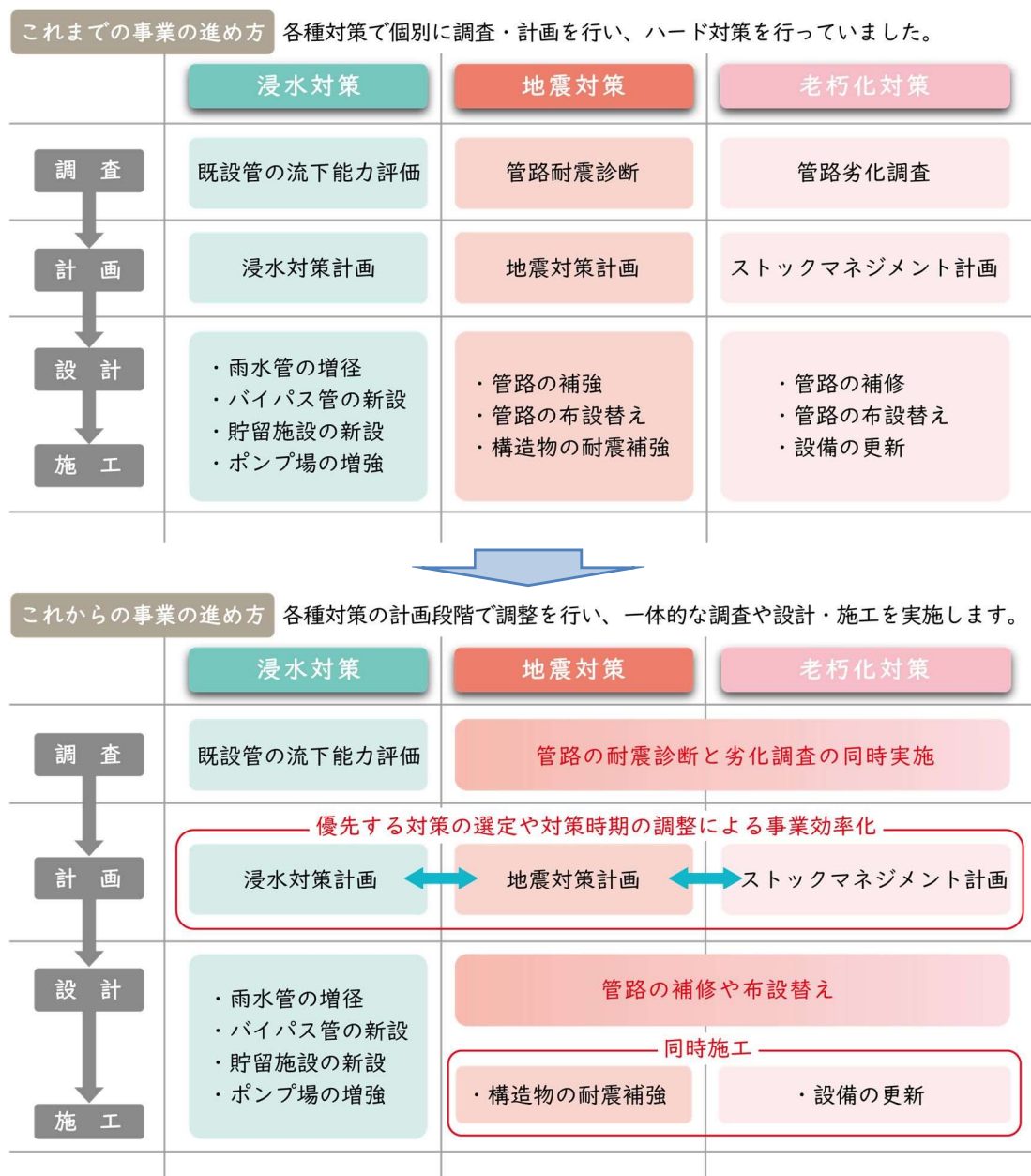


図 5.1 事業連携の具体的事例

2 管理指標

各重点施策の達成状況については、以下の管理指標に基づき評価を行います。

表 5.1 重点施策の管理指標

重点施策	具体的な取組	管理指標
生活排水処理の普及	市街化区域における未整備区域の解消	[定量評価] 整備面積/計画面積
	接続率（水洗化率）の向上	[定量評価] 下水道接続人口/下水道処理区域内人口
	市街化調整区域における生活排水処理の普及	[定量評価] 市街化調整区域生活排水処理人口/市街化調整区域人口
合流改善事業効果の継続的な発揮	合流改善に貢献する雨水流出抑制対策の推進	[定性評価] 取組状況確認
	合流改善事業効果の維持	[定量評価] 放流水質調査結果が基準値以下
浸水対策の実施	総合的な雨水対策の推進	[定量評価] 計画降雨に対して家屋被害解消ブロック/重点対策地区ブロック
	河川等の整備	[定量評価] 整備延長/計画延長
	雨水流出抑制対策の推進	[定性評価] 取組状況確認
地震対策の実施	管路施設の地震対策	[定量評価] 実績延長/予定延長
	ポンプ場の地震対策	[定量評価] 実績箇所数/予定箇所数
	災害時におけるトイレ機能の確保	[定性評価] 取組状況確認
下水道施設の計画的管理	管路施設の改築・修繕	[定量評価] 実績延長/予定延長
	ポンプ施設の改築・修繕	[定量評価] 実績箇所数/予定箇所数
	雨天時侵入水対策の実施	[定性評価] 取組状況確認
災害におけるソフト対策の実施	下水道業務継続計画の策定及び見直し	[定性評価] 取組状況確認
	下水道施設における災害事前対策の実施	[定性評価] 取組状況確認
	自助につながる情報提供	[定性評価] 取組状況確認
経営基盤の強化	経営戦略に基づく事業経営	[定量評価] 収支の黒字
	DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進	[定性評価] 取組状況確認
広報事業の充実	市民の皆様への情報発信	[定性評価] 取組状況確認
	下水道への理解を深めるきっかけづくり	[定性評価] 取組状況確認
	経営状況の見える化	[定性評価] 取組状況確認

3 計画の進行管理方針

本ビジョンの実現に向けた進行管理方針としては、①計画の策定・改定、②重点施策の推進、③モニタリングによる実施状況の確認、④計画の見直し検討といった、PDCA サイクルにより、進行管理を行っていきます。

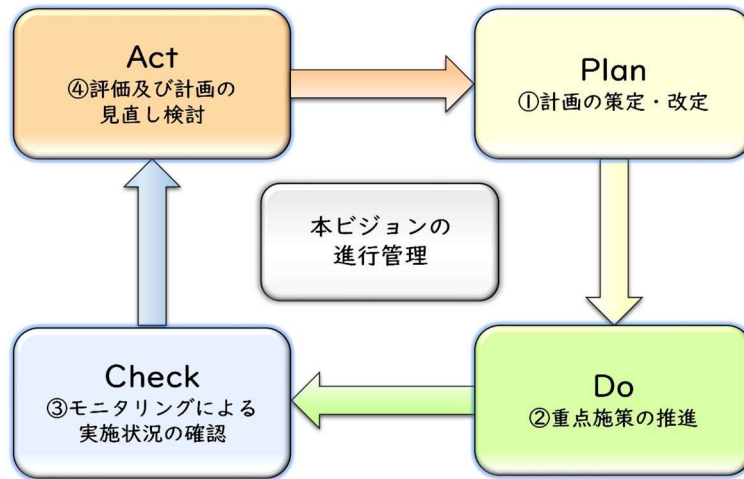


図 5.2 下水道ビジョンの PDCA サイクル

①P (Plan) 計画の策定・改定

本ビジョンの計画策定・改定を行います。

②D (Do) 重点施策の推進

計画策定及び改定ののち、本ビジョンに基づき重点施策を実施します。

③C (Check) モニタリングによる実施状況の確認

重点施策の実施状況が目標達成に向けて妥当であるか確認します。また、重点施策の推進において生じた課題についても整理します。

④A (Act) 計画の見直し検討

モニタリングで確認した実施状況・課題及び社会情勢を考慮し、本ビジョン見直しの必要性について検討します。

参考資料

I 用語解説

	用語	用語解説
ア	雨水管理総合計画	下水道による浸水対策を実施する上で、当面・中期・長期にわたる、下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定めるもの。
	雨水管理方針マップ	雨水管理方針の検討結果に基づき、計画期間、下水道計画区域、計画降雨（整備目標）、段階的対策方針を図示したもの。
	雨水吐	一定量の水を処理場へ送り、堰を越えた水だけを貯留管または海へ放流させる施設のこと。
	雨天時放流水質調査	合流改善対策の実施や施設の適切な維持管理等により、基準を満たす放流水質となっているかを確認するため、下水道法施行令第12条第3項により毎年1回以上の雨天時モニタリングが義務づけられている。基準値は下水道法施行令で示されるBOD：40mg/l以下である。
	液状化	地震が発生した際の振動によって地盤が液体状になる現象のこと。建物の傾斜・沈下や地中構造物（マンホール等）の浮き上がりの被害が発生する。
カ	合併処理浄化槽	トイレのし尿と雑排水（台所、洗濯、風呂等の排水）を一緒に処理する浄化槽のこと。
	幹線整備率	事業計画区域内の主要な管きよの計画延長に対して、整備した管きよの延長の割合。
	官庁会計	収入と支出を現金が動いた時点で記録する現金主義の会計。

	用語	用語解説
	既往最大降雨	過去の降雨データより、60分間雨量が最大となる降雨。茅ヶ崎市では平成15年5月31日の降雨（1時間当たり75mmの降雨）としている。
	記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、気象レーダー等により解析したときに気象庁から発表される情報。
	緊急輸送道路等	災害時の復旧・物資輸送活動に最低限必要な国道等の主要道路のこと。
	クイックプロジェクト技術	下水道未普及地域を対象に、早急かつ効率的に、低コストで整備を行っていくための技術の総称。
	汲み取り	トイレのし尿を便槽と呼ばれるタンクに溜めこみ、定期的にバキュームカーで回収し、処理する方式。雑排水（台所、洗濯、風呂等の排水）は処理されないため、悪臭や水質汚濁の原因となる。
	計画降雨	浸水被害の発生を防止するための下水道施設の整備目標として位置付けられる降雨。茅ヶ崎市では過去の降雨状況を考慮して、計画降雨を5年に1回程度発生する大雨（1時間当たり50mmの降雨）としている。
	公営企業会計	収入や支出を含む全ての財産の増減の変化を、発生時点で記帳する発生主義の会計であり、経営・資産等の状況の正確な把握が可能となる。
	公共用水域	公共的に利用される水域（河川、湖沼、港湾、沿岸海域等）や水路のこと。
サ	事業計画区域	全体計画で定めた区域のうち、概ね5～7年間で整備する予定の区域。
	収益的収支	当該年度の企業の経営活動で発生する収入（下水道使用料等）と、対応する支出（人件費、維持管理費等）のこと。

	用語	用語解説
	ストックマネジメント	持続可能な下水道事業の実現を目的に、膨大な施設状況を把握、評価し、計画的かつ効率的に管理すること。
	接続率（水洗化率）	公共下水道（污水）整備済み区域の人口に対して、下水道に接続し利用している人口の割合。
	全体計画区域	将来的な下水道施設の配置計画等を定めたものであり、概ね20～30年後を想定して設定したものの。
タ	単独処理浄化槽 （みなし浄化槽）	トイレのし尿のみを処理する浄化槽のこと。雑排水（台所、洗濯、風呂等の排水）は処理されないため、悪臭や水質汚濁の原因となる。
ナ	年齢3階層別人口	全人口を、年少人口（15歳未満人口）、生産年齢人口（15～64歳人口）、老年人口（65歳以上人口）に分けたもの。
ハ	樋門	居住地側の雨水を河川に排水するために、堤防をトンネルのように通り抜けて設けられる水路。
	BOD	生物化学的酸素要求量のこと。水質汚濁を示す代表的な指標で、水中の微生物が消費する酸素量を示す。BODが高いと、生物が死んでしまったり悪臭が発生したりすることがある。
	PPP/PFI	Public Private Partnership 及び Private Finance Initiative の略であり、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
マ	面整備率	事業計画区域面積に対して、下水道を整備した面積の割合。

	用語	用語解説
ラ	流域治水	気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生等の対策をより一層加速するとともに、集水域（降った雨水を集めて河川に流す地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者（行政・企業・住民）が協働して水災害対策を行う考え方。
	ろ過スクリーン	下水中のごみを取り除き、下水と分離するための格子状の柵のこと。

表紙写真：神奈川県茅ヶ崎市秘書広報課シティプロモーション担当
(@chigasaki.promotion)

ちがさき下水道ビジョン

令和 5 (2023) 年●月発行 ●部

発行 茅ヶ崎市 下水道河川部下水道河川建設課
〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 1 番 1 号
電話 0467-82-1111 (代表)
FAX 0467-89-2916

ホームページ <https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>
携帯サイト <http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/>





茅ヶ崎市

Chigasaki City